

工事検査のポイント

2022.09.16

工事検査課

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

●全般

地方自治法

・地方自治法第234条の2第1項

(抜粋)契約の適正な履行を確保するため又はその受ける給付の完了の確認をするため必要な検査をしなければならない。

公共建築工事標準仕様書（建築工事編）

・1. 6. 1工事検査

契約書に基づく工事の完成の確認（部分払いの出来形部分、部分引渡の指定部分の完成の確認）

・1. 6. 1技術検査

工事中及び完成時の施工状況の確認及び評価をするための検査

公共建築工事標準仕様書

（電気設備工事編）（機械設備工事編）

・1. 1. 2工事検査、技術検査

1 給付の確認

- 契約約款、現場説明書、特記仕様書、契約図面との整合(材料、工法、試験結果、出来形等)
- 電気、機械設備の動作確認
電気設備...受変電設備、照明設備、通信・情報設備等
機械設備...空気調和設備、給排水衛生設備等

2 技術検査

- 標準仕様書、契約図面どおりの施工・品質であるか
(品質計画・品質管理、試験、施工図、作業工程、記録・写真、精度、出来ばえ、施工体制・資格者等)
- 施設利用や維持保全に支障がないか
(機能・性能、使いやすさ、危険な箇所、錆止め、防水、排水、手すり、異種金属接触等)
- 安全対策等が適切か
(敷地内外、仮囲い、山留め、足場、建設機械、交通安全、騒音、振動、粉塵、産廃、残土処分、整理整頓等)

給付の検査

○工事費用を支払うための確認

①工事实施状況の検査

契約書等の履行状況、工程管理、安全管理、工事施工状況及び施工体制等の工事管理状況に関する各種の記録と契約図書とを対比し以下の事項に留意して行う。

・ 契約書等の履行状況

②出来形の検査

③品質の検査

技術検査

○企業・技術者の技術力を評価
工事の適正かつ能率的な施工を確保するとともに
工事に関する技術水準の向上に資することを目的

工事成績評定をつける

・ 工事施工状況
・ 工程管理
・ 安全管理
・ 施工体制

④出来ばえの検査

●書類検査

書類検査では、契約関係書類と工事関係書類を確認する。

1 契約書、法令により提出が定められている書類

2 工事関係書類

1 契約書、法令により提出が定められている書類

(1) 現場説明書、約款等で提出を求めている書類

(工程表、主任技術者等通知書、請負代金内訳書、CORINS、建退協掛金納入書、火災保険など)

(2) 下請関係

(施工体制台帳、再下請通知書、施工体系図)

(3) 法令による申請、届出等

(建築基準法、消防法、建設リサイクル法、大気汚染防止法、特定施設設置届(騒音・振動)、上下水道、ばい煙発生施設設置届等)

1 契約書、法令により提出が定められている書類

(1) 現場説明書、約款等で提出を求めている書類

☞ 提出日の確認(契約締結後○日以内)

☞ 主任技術者等通知書...専任・非専任、
監理技術者、雇用関係

☞ 請負代金内訳書...法定福利費の記入

☞ 火災保険...保険期間は工期+14日程度、
工期延長の場合の有効保険期間

1 契約書、法令により提出が定められている書類

(2) 下請関係

施工体制台帳

- ☞ 添付する契約書には契約金額を明示
- ☞ 契約書には約款を添付する。
- ☞ 主任技術者の専任・非専任
- ☞ 建設業の許可の確認(500万円以上の請負契約)
- ☞ 再下請通知書の提出案内

1 契約書、法令により提出が定められている書類

(2) 下請関係



【参考】

建設業法に基づく適正な施工体制と
配置技術者

国土交通省
近畿地方整備局HP

1 契約書、法令により提出が定められている書類

(3) 法令による申請、届出等

- ☞ 届出書によっては提出期限があるので注意
- ☞ 除却届(解体工事)の提出忘れ
- ☞ 道路占用(歩道・道路側溝保護の敷鉄板等)
- ☞ 解体、改造又は補修する工事の場合は、石綿の使用状況を事前に調査し、その結果を元請業者が発注者に対して書面で説明
- ☞ 一定規模以上の解体、改修工事では事前調査結果を県及び労働基準監督署に報告

1 契約書、法令により提出が定められている書類

大気汚染防止法改正

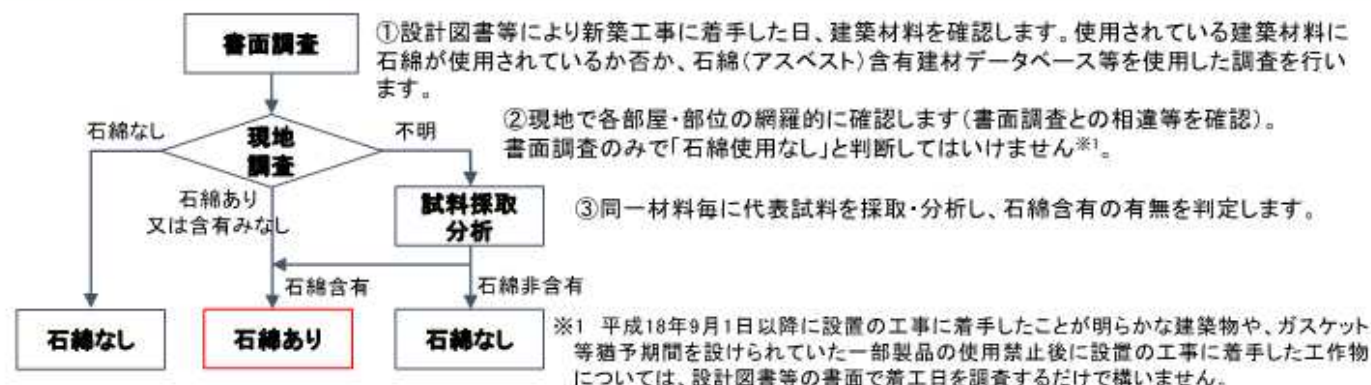
建築物や工作物を解体・改造・補修する際は、事前調査が必要です。

解体等工事の元請業者等は、工事を行う前に石綿含有建材が使用されていないか確認する必要があります。

(1) 大気汚染防止法に事前調査の方法が規定されました。(新法第18条の15第1項)

- ① 設計図書その他書面による調査
- ② 現地での目視による調査
- ③ 分析による調査

NEW



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

1 契約書、法令により提出が定められている書類

大気汚染防止法改正

(3) 事前調査の結果は、作業開始前(届出対象特定工事の場合は工事開始の14日前まで)に書面で元請業者等から発注者に説明する必要があります。

強化

【説明事項】

- ① 石綿使用の有無に関わらず必ず説明する事項(新法第18条の15第1項第1号及び第4号、新規則第16条の7第1号及び第2号)
 - ✓ 事前調査結果、調査の終了年月日、調査の方法並びに調査を行った者の氏名及び調査者等に該当することを明らかにする事項(調査者の講習実施機関の名称等)
- ② 特定工事に該当する場合の説明事項(新法第18条の15第1項第2号及び第3号、新規則第16条の7第3号及び第4号)
(★は届出対象特定工事で該当する場合のみ)
 - ✓ 特定建築材料の種類・使用箇所・使用面積
 - ✓ 特定粉じん排出等作業の種類
 - ✓ 特定粉じん排出等作業の実施期間
 - ✓ 特定粉じん排出等作業の方法
 - ✓ 対象となる建築物等の概要(構造・階数・延べ面積等)・配置図及び付近の状況★
 - ✓ 特定粉じん排出等作業の工程を明示した特定工事の工程の概要
 - ✓ 特定工事を施工する者の現場責任者の氏名及び連絡場所
 - ✓ 下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所★

届出対象特定工事の場合に14日前までに説明することとしているのは、発注者による作業実施の届出書の作成を考慮したものです。



説明の書面の写しは、(4)の記録とともに工事終了後3年間保存してください。

1 契約書、法令により提出が定められている書類

大気汚染防止法改正

(4)一定規模以上の工事を行う場合は、石綿の使用の有無に関わらず、事前調査結果を元請業者等が都道府県等に報告しなければなりません。

【義務付け適用】令和4(2022)年4月1日～

(新法第18条の15第6項、新規則第16条の11)

NEW

【規模要件】

- ✓ 建築物の解体:対象の床面積の合計が80㎡以上
- ✓ 建築物の改造・補修、工作物の解体・改造・補修:請負金額の合計が100万円以上

※工作物は環境大臣が定めるもの(令和2年環境省告示第77号)、金額には事前調査の費用は含まず、消費税を含みます。

【報告事項】

調査対象の建築物等の概要、解体等工事の期間、建築材料の種類及び特定建築材料に該当するか否か(該当しないと判断した場合はその根拠)、調査者等の氏名及び調査者等であることを明らかにする事項等

【報告の方法】

新たに整備する電子システム ※石綿障害予防規則の報告と共通のシステム

報告は元請業者又は
自主施工者が行います。

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

●書類検査

書類検査では、契約関係書類と工事関係書類を確認する。

1 契約書、法令により提出が定められている書類

2 工事関係書類

2 工事関係書類

- (1) 総合施工計画書
- (2) 各工種の施工計画書
- (3) 材料検査簿
- (4) 試験・検査結果
- (5) 工事内容変更に係る協議書
- (6) 産廃・再資源化関係
- (7) 工事写真
- (8) 安全衛生体制

2 工事関係書類

(1) 総合施工計画書

- ☞ 現場説明書との整合
- ☞ 安全対策についての記載
- ☞ 低入札工事の場合、補助技術者の役割、品質管理体制

2 工事関係書類

(2) 各工種の施工計画書

- ☞ 特記仕様書との整合
- ☞ 試験及び測定方法と基準値、測定機器の公正証明
- ☞ 材料・副資材の性能と仕様
(国交省仕様・メーカー仕様など)
- ☞ 機器類の設置についての検討
(アンカーボルトの耐震計算など)
- ☞ 既存設備との取合いがある場合、調査、施工、試験を明確にして計画を立てているか。
- ☞ 各工種における安全対策
 - ・掘削時、躯体はつり時における埋設管の確認
 - ・石綿含有建材の除去時の対策

2 工事関係書類

(3) 材料検査簿

- ☞ 材料の仕様、設計数量以上
- ☞ 特記仕様書で指定した監督員の検査が必要な材料

(4) 試験・検査結果

- ☞ 特記仕様書、標準仕様書で指定された試験・検査について確認
(実施時期は適正か、基準値に適合しているか)
- ☞ 機器の機能が設計で求めている品質か
- ☞ 非常時、防災上必要な設備については、連動試験などの実施記録

2 工事関係書類

(5) 工事内容変更に係る協議書

☞ 変更契約に係る協議記録はあるか

(6) 産廃・再資源化関係

(産廃処理業者の实地確認、COBRIS関係、
マニフェスト、残土受入証明等)

(7) 工事写真

(工程の確認、隠ぺい部分、不可視部分の確認)

(8) 安全衛生体制

(災害防止協議会、安全パトロール等)

●現場検査

- 1 工事看板、標識等
- 2 施工計画書、図面、標準仕様書どおりの施工か
(抽出検査)
- 3 出来栄え、施工精度、作動状況
- 4 法令(建築基準法等)に適合しているか...改修工事
- 5 安全対策

●現場検査

1 工事看板、標識等

標識類		公衆	工事関係者	現場事務所内
建設業許可票 (建設リサイクル法届出済シール)	建設業法40条	○ ○		
労災保険関係標識	労働者災害補償保険法施行規則49条		○	
建設業退職金共済制度適用事業工事現場標識			○	
緊急連絡体制表及び緊急時連絡表			○	○
実施工程表				○
施工体系図	建設業法24条の8第4項	○	○	
再下請負通知書の提出案内	建設業法施行規則14条の3		○	
作業主任者	労働安全衛生規則18条		○	
有資格者一覧票	労働安全衛生規則36条		○	
建築確認済看板	建築基準法89条	○		
鉄骨製作工場名表示板	建設省建築指導課長通知H4.9.30	○		
工事事故ハザードマップ	工事安全管理に関する特記仕様書		○	
石綿の事前調査結果の掲示	大気汚染防止法第18条の15第5項、石綿則第3条	○	○	
特定粉じん排出等作業に係る掲示 (建築物の解体等の作業に関するお知らせ)	大気汚染防止法第18条の14、石綿則第34条	○	○	

●現場検査

2 施工計画書、図面、標準仕様書どおりの施工か

☞寸法、間隔、深さ、個数、位置、勾配、接続、
固定方法など（抽出検査）

●現場検査

3 出来栄え、施工精度、作動状況

☞キズ、塗装の剥がれ、取り合い・端部の納まり

☞素手で触ってみる。

(手摺の固定、木材のとげ、アクリル板等のエッジ)

☞裸足で歩いてみる。(プール・シャワー室の床)

☞動かしてみる。(可動の滑らかさ、稼働時の音、
設備機器の使い勝手、防災・非常用設備)

☞開けてみる。閉めてみる。(障害物の有無、隙間、
木製建具の反り)

●現場検査

3 出来栄え、施工精度、作動状況

☞キズ、塗装の剥がれ、取り合い・端部の納まり



●現場検査

3 出来栄え、施工精度、作動状況

☞素手で触ってみる。



手すりの固定不良



敷居のささくれ

●現場検査

3 出来栄え、施工精度、作動状況

☞開けてみる。閉めてみる。



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

●現場検査

4 法令(建築基準法等)に適合しているか...改修工事

☞防火避難規定

- ・2方向避難、歩行距離、内装制限、屋根不燃材など

☞開口部の変更

- ・排煙窓の有効面積など

☞壁、屋根の設置

- ・延べ床面積の増加など

☞耐火被覆の欠損、防火区画貫通部

●現場検査

4 法令(建築基準法等)に適合しているか...改修工事

☞耐火被覆の欠損



●現場検査

5 安全対策

➡ 建築工事事事故防止重点対策への対応

➡ 工事安全管理に関する特記仕様書

(「工事事事故ハザードマップ」、「予想される事故対策リスト」)

➡ 自分の感覚を信じる

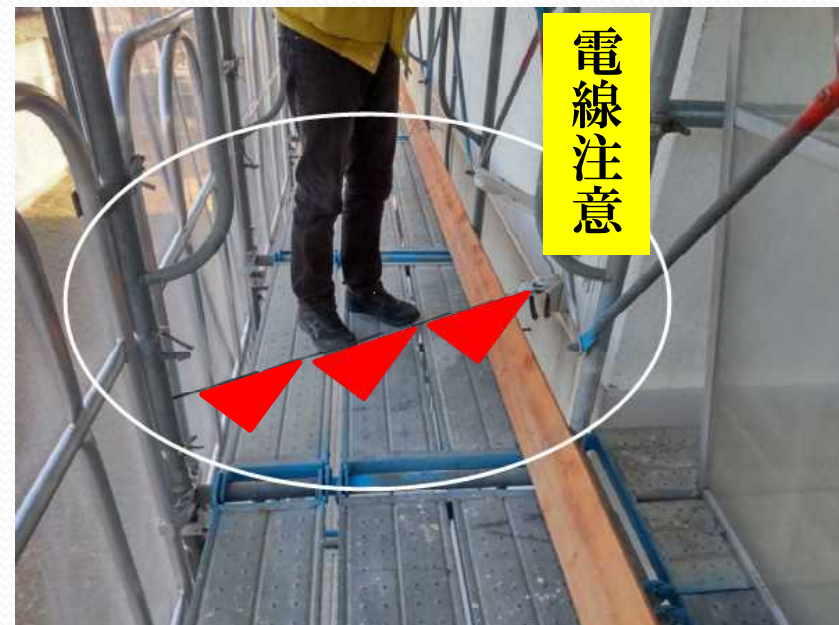
➡ 現場の様々な部分を見る



●現場検査

5 安全対策

☞ 自分の感覚を信じる



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

●現場検査

5 安全対策

👉現場の様々な部分を見る



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

令和3年度 中間検査(建築)における指示事項

概 要	工事区分	内 容
01書類不備	外壁改修	・低入札工事特記仕様書に基づき、補助技術者通知書を提出すること。
01書類不備	外壁改修	・請負代金内訳書(法定福利費を明示)を契約担当者に提出すること。
01書類不備	外壁改修	・「掛金収納書」を提出すること。
01書類不備	外壁改修	・工程表、火災保険その他損害保険加入届出書及び法定外の労災保険の写しの提出等を行うこと
02協議	新築	・屋外階段基礎アンカーについて、施工方法等を受発注者間で協議すること。
02協議	外壁改修	・指定仮設である仮囲いの設置位置を変更することについて協議記録を残すこと。
02協議	内部改修	・指定仮設である「A型バリケード」を「フェンスバリケード」に変更することについて協議を行うこと。
02協議	解体	・現場説明書で土日祝日を休工としているため、祝日に工事を行う場合は、発注者と協議すること。
02協議	解体	・低振動型の重機を使用すること。使用できない場合は、発注者と協議すること。
02協議	解体	・キューピクル周りに設置したフェンスの管理責任が受注者にあるのか施設管理者にあるのか不明であるため整理し必要な手続きを行うこと。
02協議	解体	・南側進入路に埋設された排水管を残置するのであれば、理由を明確にすること。
03保険等	外壁改修	・火災保険その他損害保険加入届出書を提出すること。
03保険等	解体	・法定外の労災保険に加入すること。
04有資格者	内部改修	・配置を予定している登録基幹技能者が現場に入っていることが確認できるよう資料を整理すること。
05法令関係	新築	・柱、梁の耐火被覆について、欠損して規定の厚さがない箇所の補修を行うこと。また、南棟以外についても軽鉄下地施工後(ボードを張る前)に建物全体を調査し、耐火被覆の欠損箇所については同様に補修を行うこと。
05法令関係	内部改修	・エントランスホール内装木質化について、建築基準法及び関係法令に適合していることが確認できるよう資料を整理しておくこと。
05法令関係	解体	・建築基準法第15条第1項の規定に基づく除却届を提出すること。

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

令和3年度 中間検査(建築)における指示事項

概 要	工事区分	内 容
06施工計画書	外壁改修	・塗装工事施工計画書に、鉛含有塗料の除去について記載するとともに施工記録を残すこと。
06施工計画書	耐震	・新設する耐震壁下部の掘削工事に係る施工計画書を速やかに作成し提出すること。
07施工	新築	・放送用配管のジョイントボックスについて、ネジの締め忘れを是正すること。
07施工	新築	・電気幹線のプルボックスへの接続を確実に行うこと。
07施工	外壁改修	・軒先の水切り箇所の一部に塗装不良があるので、補修すること。
07施工	外壁改修	・壁の穿孔に用いる機器は、施工計画書に記載された適切なものとする。
07施工	内部改修	・クッションフロアの接着剤について、施工箇所に応じたものを使用し、施工記録を整理すること。
07施工	内部改修	・ベランダ出入口にある手すりについて、図面どおり下地を入れて施工すること。
07施工	内部改修	・天井下地材の吊りボルトは躯体に垂直に取り付けること。ダクトが干渉し直接取り付けることが困難な場合には、アングル等の鋼材を別に設けて取り付けるなどの補強を行うこと。
08施工記録	新築	・各種施工計画書において定めている「自主点検表」を作成すること。
08施工記録	解体	・現場事務所設置までの間の現場における事務作業が適切に行われていたことが確認できる資料等を整理すること。
08施工記録	外壁改修	・建築改修特記仕様書1章12材料の検査等に基づき、現場に搬入したすべての材料について自主検査記録(任意様式)を提出すること。
08施工記録	特定天井	・杭工事におけるトルク値管理について、管理方法の考え方を整理すること。
09試験	外壁改修	・シーリングの簡易接着試験結果を整理すること。
10安全管理	新築	・2階スラブ端部と足場の間で落下の恐れがある箇所には、手摺等の落下防止措置を行うこと。
10安全管理	新築	・施設利用者(教員等)に対する安全対策(仮囲い等)を適切に実施すること。
10安全管理	外壁改修	・足場板の隙間が大きい箇所について是正すること。

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

令和3年度 中間検査(建築)における指示事項

概 要	工事区分	内 容
10安全管理	外壁改修	・足場に出ている単管や足場の重ね部分について、踏かないよう注意喚起措置を行うこと。
10安全管理	外壁改修	・住棟北側出入口付近を掘削する際の仮設計画について、受発注者間で十分協議を行い、工事関係者以外の誤進入が発生しないようにすること。
10安全管理	外壁改修	・場内の整理整頓を行うこと。
10安全管理	屋上防水	・屋上防水工事の施工に当たり、安全対策として設置した親綱を正しく使用した施工方法とすること。
10安全管理	解体	・足場に幅木がない箇所があるので、適切に設置すること。
10安全管理	解体	・敷地境界付近の施設(倉庫・フェンス)撤去後の工事エリアとその他の部分の区画について工事関係者以外が容易に立ち入ることができないよう早急に対策を講じること。
10安全管理	解体	・重機の作業半径(範囲)内の立入禁止措置を適切に行うこと。
10安全管理	解体	・躯体壁体を引き倒す際に、壁体に近接した足場上で作業を行わないこと。作業手順を再確認し、作業員全員に周知すること。

令和3年度 設備工事の中間検査における主な指示事項

概要	工事種別	指摘事項
01書類不備	共通	材料検査簿、工事記録簿、打合せ記録簿を直近の日付まで整備すること。
01書類不備	共通	建退共受払簿を整理すること。
01書類不備	共通	下請け業者の退職金制度加入状況を確認すること
01書類不備	共通	産廃マニフェスト整理表を作成すること
01書類不備	共通	施工体制台帳に契約書を添付すること。
01書類不備	共通	有資格者一覧を作成すること
01書類不備	共通	主任技術者通知に営業所の専任技術者がわかる書類を添付すること
01書類不備	共通	施工体制台帳に下請負人に対する通知書を添付すること
02協議	共通	週休2日の対象期間に関する協議記録を整理すること。
02協議	共通	週休2日推進工事特記仕様にに基づき協議書並びに工程表等を整理すること。
03保険等	共通	火災保険の証券を提出すること。
03保険等	共通	火災保険等加入書類に加入内容の詳細がわかるものを添付すること
04有資格者	共通	配置する技能士は、一級とすること。
04有資格者	共通	設計図書で指定された技能士の作業状況がわかる書類を整理すること。
05法令関係	共通	産業廃棄物処分業者の実地確認を行うこと。
05法令関係	共通	労災保険関係成立票を掲示すること

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

令和3年度 設備工事の中間検査における主な指示事項

概要	工事種別	指摘事項
06施工計画書	共通	機器据付・ダクトの施工要領書を作成すること。
06施工計画書	共通	工種別施工計画書内に照度測定の確認方法の記載をすること。
06施工計画書	共通	総合施工計画に電力保安責任者の資格を添付すること
06施工計画書	機器設備	更新切替作業の手順並びに試験内容を施工計画書として整理し、監督員に提出すること。
07施工	共通	スリーブ・インサート施工計画書を共通仕様書に合わせて修正すること
07施工	昇降機設備	機械室側の油圧配管貫通部の、耐火処理を忘れずに行うこと。
07施工	排水設備	耐火二層管の外管の接続部で10mm以上の隙間がある部分について、目地処理を行うこと。
07施工	排水設備	汚水管の勾配不足箇所の是正を行うこと。
07施工	機器設備	キュービクル周りの地盤の高さと工程を他工事の外構と調整すること
07施工	機器設備	外壁（押出成形セメント板）に取付けする引込盤の施工について、補強方法を含め検討すること。
07施工	機器設備	電光掲示内部の既設配管の支持クリップに保護キャップを取り付けること。
07施工	機器設備	既設煙道のアスベストを含むフランジパッキンを適正に処分すること。
07施工	機器設備	盤底部と基礎架台の隙間について、コーキング処理をすること。また、ケーブルラックの立ち上げ部の隙間についても処理を行うこと。
07施工	機器設備	既設盤に設置する蓄電池について、蓄電池を短絡させないように注意して施工し、地震時に転倒や破損しないよう転倒防止と緩衝材を設けること。
07施工	機器設備	各端子接続部において増し締めを確認しマーキングを行うこと。
07施工	照明設備	照明器具並びに盤の取付け箇所について、ボルトナットの締付けトルクを確認しチェックマーキングをすること。
07施工	通信設備	壁側面に取付けのTVアンテナの固定方法と風耐荷重計算をしておくこと。
07施工	通信設備	アンテナ基礎とプルボックスにコーキング処理をすること。

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

令和3年度 設備工事の中間検査における主な指示事項

概要	工事種別	指摘事項
08施工記録	機器設備	機器据付の耐震計算を現場施工に合わせて再計算すること。
08施工記録	機器設備	冷温水発生機の処分にに関する書類を整理すること。
08施工記録	機器設備	機器のアンカーボルト計算書を作成すること。
08施工記録	排水設備	排水管の勾配管理記録を整理すること。
08施工記録	受変電設備	決定した新発電機の給排気量と、設置する既設発電機室の既存給排気量を確認すること。
08施工記録	受変電設備	発電機の72時間連続運転に対して、潤滑油量が対応可能か確認すること。
09試験	給水設備	給水管水圧試験の試験圧力の根拠を明記すること。
09試験	給水設備	給水管の試験方法について、水道事業者の基準を確認すること
09試験	照明設備	照度測定結果表において、更新前後の照度比較をすること。
10安全管理	共通	脚立使用時の安全対策について、作業員に徹底すること
10安全管理	共通	現場のハザードマップを活用し工事事務防止に努めること。
10安全管理	共通	高所作業のため、引き続き工具の落下防止対策並び安全帯の着用を徹底すること。ー
10安全管理	共通	足場に積載重量の標識をつけること
10安全管理	機器設備	限られた停電時間内の改修作業となるので、作業前・作業中・作業終了後の注意項目を定めて感電事故に注意すること。
10安全管理	昇降機設備	昇降路内の転落事故や工具の落下事故に注意すること。
10安全管理	機器設備	切替時の活線作業時は、充電部への接触・短絡事故に気を付けること。

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部